

うるおい木曾

東海三県を水で結ぶ - 木曾川用水

Vol. 74

2019・1月

水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

発行：木曾川用水総合管理所
〒495-0036

愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

TEL 0587-97-3710(代表)

FAX 0587-97-1482

ホームページアドレス

<http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>

明けましておめでとうございます



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さま方には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

木曾川用水総合管理所では、木曾川用水施設である木曾川大堰、濃尾第二施設の管理、木曾川右岸施設の管理及び改築を実施するとともに長良導水施設の管理を行っています。昨年は自然災害が多かった年でしたが、幸いにも長期間にわたる通水障害もなく管理を実施することができました。また、木曾川右岸緊急改築事業も計画通り工事の進捗を図ることができました。これもひとえに皆さま方から、水利用の調整など、施設の日々の運用にあたりご尽力いただいた賜物と、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、例年になく、大きな災害が多く起こった年でした。

大規模地震では、6月18日に大阪府北部地震、9月6日に北海道胆振東部地震が発生しました。北海道胆振東部地震は、全国では6例目、北海道で初となる震度7の地震で、大規模な土砂崩れや、札幌市等で発生した液化化現象による道路の陥没や家屋の傾き、北海道内のほぼ全域で停電となったブラックアウト等の被害がでました。東海地方が大規模地震の空白域となっているのは、少し不気味にも思えるほどです。

また、昨年は豪雨による被害も頻発しました。「西日本豪雨」と称し報道されている7月上旬に発生した豪雨は、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、死者数が200人を越える甚大な災害となりました。この災害により上水道の断水が広範囲で発生し、水資源機構も広島県三原市において所有する可搬式浄水装置2台による給水支援を行いました。給水支援には延べ37名の職員が派遣され、木曾川用水総合管理所からも3名を派遣しました。

実はこの豪雨では、西日本がクローズアップされていますが、気象庁は平成30年7月豪雨と命名しており、東海地方でも岐阜県の津保川が氾濫し、床上浸水、床下浸水の被害が出るほどの豪雨を記録しています。水資源機構が管理している岩屋ダムの流域でも7月4日0時から8日13時まで累加雨量772mmの過去最大の雨量を観測しました。この時の豪雨により木曾川大堰地点での河川流量は毎秒約7,200m³で、管理を開始以来8番目に多い流量を観測しました。

また、豪雨による影響としては、6月27日、28日、岐阜県下呂地区での総雨量283mmにおよぶ集中豪雨により、測定範囲上限の2,000mg/Lを超える高濁度水が飛騨川を流下し、木曾川右岸施設の取水を一時減量せざるをえない状況になりました。このときは、調整池の貯留水の利用や利水者側で浄水場の取水系統を切り替え等して、断水被害を回避することができました。

この地域に影響する台風も例年に比べ多く襲来しました。特に9月4日に襲来した台風21号では、中部電力の停電が長引き、木曾川用水総合管理所でも13時間もの長時間の停電が発生しました。このときは、停電期間中に木曾川大堰のゲート操作等がありましたが、予備発電機の安定的な電力供給により、支障なくゲート操作を行いました。

このように、近年、大規模な地震や異常気象による災害が頻発しています。水資源機構としましても、全国で起こっている災害は他人事ではなく、気を引き締めて管理行っていく所存です。また、木曾川右岸緊急改築事業も残すところ2年となり、確実に工事の進捗を図っていきたいと考えていますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆さま方にとって、よき年であることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



木曾川用水総合管理所
所長 村上 喜昭



農家滞在型体験研修

水資源機構では、新人職員(入社1年目～3年目)は農家滞在型体験研修を受講します。研修の目的は、農家に一定期間滞在し、農作業を体験するとともに農業における水利用や農業経営、農家生活の実情について身をもって知ることで、ユーザーである農家の視点に立つことによって得られた経験などから将来の機構業務遂行の礎とすることです。



ガーデンマム



水やりの様子

研修は岐阜県加茂郡富加町羽生にある(有)丸富園芸さんに10月8日から10月19日までの11日間お世話になりました。丸富園芸さんはガーデンマムやサンティニマムサンティなどの花卉を栽培し、市場に出荷しています。

今回の研修では、出荷準備や土詰め作業、定植、花卉への水やりなどの作業を主に体験しました。出荷準備では、花卉を出荷するためのダンボールを組み立て、出荷する花卉の運搬、花卉を荷台に載せる作業を行いました。土詰め作業は花卉を育てるための土をポットに詰める作業です。また、定植は土を詰めたポットに芽を植えていく作業です。今回の研修ではこれらの作業を体験させていただきました。



出荷準備

今回の研修では、農家さんがどのように花卉を栽培し、出荷しているのか、花卉は観賞用のため商品価値が下がらない様に大切に扱っていること、またユーザーである農家さんがどのように機構が供給している水を利用しているのかといったことなどを知ることができました。そして研修を通して、農家さんにとって機構の供給している水が重要なものであり、安定して供給できなければ花卉生産に甚大な被害が生じることを学び、機構の果たす役割がいかに重要であるかということを知ることができました。

今回の研修で、機構の経営理念である「水を安定して安くお届けする」がいかに重要であることを学びました。機構が安定して水をお届けしなければ、農家さんは作物を栽培できません。そうすると農家さんに多大なるご迷惑をおかけします。今後、このことを頭に入れながらしっかりと水を供給できるよう頑張ります。



運搬作業

【設計工事課 藪田 暢也】



メンタルヘルス講習会の開催

平成30年度木曾川用水総合管理所の組織目標にも掲げられています、メンタルケアについて、10月17日(水)に、三菱重工(株)産業医、三菱重工大江西健康管理科部長の石川浩二先生を外部講師としてお迎えし「職場におけるメンタルヘルス(こころの健康とその対策・対応について)」ご講義していただきました。

講義では、リラックス法として、筋弛緩法や自律訓練法の実習を行い、自身でストレスを手軽に解消すること学びました。また、ストレス対処法として、愚痴をこぼすことも重要であるということをお教えいただき、そのような職場環境作りに努めていかなければと感じました。最後に自我の状態を分析するという事で、人間関係の心理学理論に基づいて作られた性格診断テスト「SGエゴグラム」を実践し自身の性格を確認しました。

心の問題は個人の問題ではなく、企業全体の問題として認識し、対策に取り組むことが必要であると改めて感じました。



講演の様子



講習会を受講する職員

木曾川大堰ゲート整備工事を実施

木曾川大堰は、完成から40年以上が経過していることから、ゲート設備の経年劣化による機能の低下を防ぎ、設備本来の正常な機能維持と円滑な運用を図る目的で、昨年度実施いたしました木曾川大堰洪水吐A2ゲートに引き続き、今年度は木曾川大堰調節1号ゲートの扉体整備及びゲート本体の塗装の塗り替え工事を進めています。

この工事は大堰の機能を保ちながら行う必要があるため、ゲートの下流側に仮設ゲートを設置し進めます。

作業を安全で効率的に進めるために、木曾川大堰にかかる馬飼大橋の交通規制(片側通行止め)を行い工事を実施しています。

平成31年3月末の工事完了を目指し、安全第一で作業を行っていきます。工事期間中、ご迷惑をおかけしておりますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。



仮設ゲート設置状況



取外した止水ゴム



取外したワイヤーロープ



サツキマス稚魚放流体験学習会

12月3日、サツキマス稚魚の放流体験学習会を実施予定でしたが、当日の雨の影響で、長岡小児童による放流は中止となり、木曾川漁業協同組合及び愛知県との協働により1,500匹(約140kg)の放流をしました。

この体験学習会は、地元小学校の児童を対象に、木曾川漁業協同組合と愛知県が行う水産資源の増殖の取り組みや木曾川の自然環境について学んでもらうとともに、木曾川への親しみを深めてもらうことを目的として、毎年、木曾川大堰の左岸魚道で実施しているもので、今回で15回目となる予定でしたが、開催以来初めての中止となり、大変残念な結果となりましたが、急遽、長岡小の教室で、漁協と愛知県が、来年5月に開催予定の6年生を対象としたサツキマス郷土料理体験学習会に先立ち、サツキマスの生態等について説明しました。今回は現5年生だけの説明になりましたが、講師に対して積極的に質問をしている児童の姿が印象的でした。

天候には逆らえませんが、来年は晴天に恵まれて、全児童の手で放流できるよう願っています。



放流作業



組合長挨拶



5年生一同

◇人事異動

お世話になりました。

【11月1日付け転出者】 電気通信課 大西 章仁(香川用水管理所)
【11月20日 "】 総務課 福田 洋佑(福岡導水総合事業所)

よろしく申し上げます。

【11月1日付け転入者】 電気通信課 原 博昭(琵琶湖開発総合管理所)
【12月1日 "】 総務課 奥田 真一(霞ヶ浦用水管理所)

お知らせ

明けましておめでとうございます。

本年も本誌が皆さま方にご愛読いただけますよう努力して参りますとともに、読者の皆さまにとりまして良き年となりますように祈念します。

本年も引き続き皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキや当管理所ホームページ「お問合せ・ご意見」からどしどしお寄せ下さい。

編集部・発行



うるおい木曾

木曾川用水総合管理所
〒495-0036

愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1
TEL(0587)97-3710 FAX(0587)97-1482

最新情報はこちらへ

ホームページ <http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>
又は【うるおい木曾】で検索してください。

出先管理所

美濃加茂管理所 〒505-0021 岐阜県美濃加茂市森山町4-9-20
TEL(0574)25-2121 FAX(0574)28-3354

弥富管理所 〒498-0014 愛知県弥富市五明3-15
TEL(0567)65-1650 FAX(0567)65-0445

長良導水管理所 〒511-1143 三重県桑名市長島町西外面1026
TEL(0594)42-5671 FAX(0594)42-5674